(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3145722号
(U3145722)
(45)発行日　平成20年10月23日(2008.10.23)　(24)登録日　平成20年10月1日(2008.10.1)

(51)Int.Cl.　F I
B60J 11/00 (2006.01)　B60J 11/00 C
B60J 11/00 P
B60J 11/00 S

評価書の請求 未請求　請求項の数 1　書面　(全 9 頁)

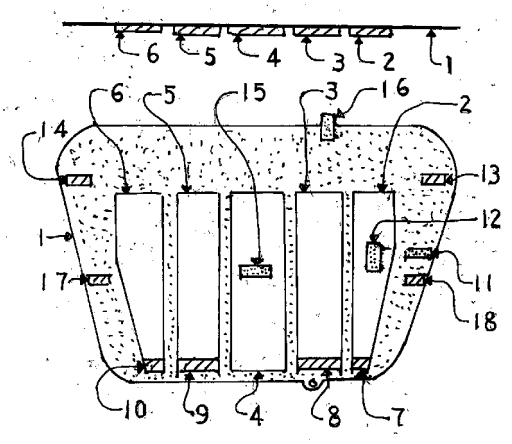
(21)出願番号　実願2007-9483(U2007-9483)
(22)出願日　平成19年11月12日(2007.11.12)

(73)実用新案権者　507404101
姫野　敏博
神奈川県横浜市泉区和泉町４４９９
(72)考案者　姫野　敏博
神奈川県横浜市泉区和泉町４４９９

(特許庁注：以下のものは登録商標)
１．マジックテープ

(54)【考案の名称】自動車フロント硝子補助具

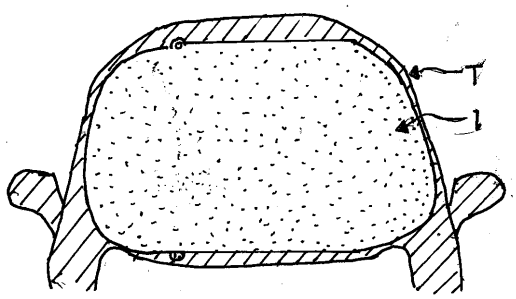
(57)【要約】　(修正有)
【課題】取付け取外し及び折りたたみが容易な、自動車フロント硝子補助具を提供する。
【解決手段】自動車フロント硝子外面に防水布１を覆う事により車内への直射日光を遮断し、霜や雪等のフロント面への付着を防止し、防水布１にウレタン板等を２，３，４，５，６を接着し折りたたみを容易にし、小形化を計る。又、周囲にベルト磁石７，８，９，１０，１１，１２，１３，１４を防水布１に接着しウインド外枠に密着させる事で取付け取外し収納が簡単となる。
【選択図】図４



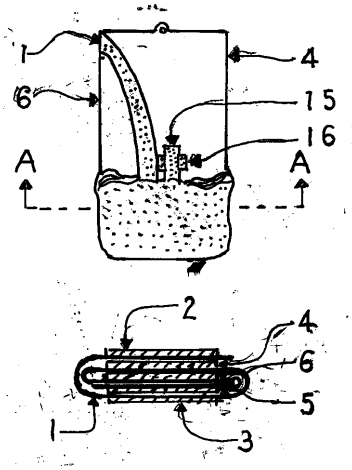
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
自動車前面フロント硝子の外面に防水布カバー又はビニール材ゴム材等で覆いフロント硝子外面からの運転室内への直射日光の遮断とフロント硝子外面への霜．雪等の付着を防止させる又ウレタン板．発砲板．ゴム材等を複数枚芯板とし左右の間隔を置きカバー裏面に接着させ折たたみを容易にして小形化を計り取付け取外し．収納時間を短縮させた．尚防水布カバー裏面周囲へ磁石又はベルト磁石．接着ゴム材等を複数カ所設置することでフロント硝子外枠へ固定．風等によるフロント硝子外面からの剥がれを防止させた自動車フロント硝子補助具
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は自動車フロント硝子補助具に関する
【背景技術】
【０００２】
従来の自動車フロント硝子補助具は車内用としての商品は有るが車外用フロント硝子面への対応はない
【考案が解決しようとする課題】
【０００３】
しかし現商品の形状では車内への直射日光の遮断機能は不十分であり又車外フロント硝子面の霜．雪等への付着に対する機能がない
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
そこで車内への直射日光を遮断するため車外のフロント硝子面に．防水布カバー　図２を取付ける場合　図５の位置へ防水布カバーを磁石により接着　図６．７．８．９．１０．の順序で取付ける事により車内への直射日光を遮断させ外側フロント面への霜．雪等の付着を防止させた又防水布カバーの裏面には５枚のウレタン板等を　図４のごとく芯出しとして間隔を置き接着する事により折たたみを易くし脱着時間の短縮を計った．
風などによる　図１からの防水布カバーが剥がれない様　図４の位置にベルト磁石を数か所使用し防水布カバーがフロント硝子面から剥がれるのを防止した
尚．防水布カバーの収納は取付順序と逆の順番で実施　図５の状態で取外し終了となる
【考案の効果】
【０００５】
よって本考案の自動車フロント硝子補助具の使用により夏期には直射日光による車内温度の上昇を防ぎ冬期にはフロント外側面の霜．雪等の付着を防止する事が出来．面倒な霜．雪等の除去時間を短縮する事ができる
尚．この結果暖房．冷房時間の短縮により燃費の改善も期待できる
【考案を実施するための最良の形態】
【０００６】
本考案に関わる自動車フロント硝子補助具は　図１に示すように対象とする自動車のフロント硝子面より一回り大きめの防水布　１．の裏面に図４で示す通り芯だし板等を複数枚．等間隔で接着し使用時の脱着をし易くした．尚ベルト磁石を防水布　１．の周囲に複数接着している自動車フロント硝子補助具である
【図面の簡単な説明】
【０００７】
【図１】は自動車フロント硝子補助具を自動車前面硝子上部ルーフの鉄部に磁石にて取付した正面図である
【図２】は自動車フロント硝子補助具を折りたたみ状態の平面図である
【図３】は自動車フロント硝子補助具を開いた状態の平面図である
【図４】は自動車フロント硝子補助具を開いた状態の裏側平面図である

【図５】は自動車フロント硝子補助具を自動車前面硝子上部ルーフの鉄部に折りたたみ状態で取付た正面図である
【図６】は自動車フロント硝子補助具を図５の下部の布部分を折りたたみ状態からマジックテープを外し伸ばした状態の正面図である
【図７】は自動車フロント硝子補助具図６の状態より上板を左に開きフロント硝子左端鉄部分に磁石により固定した正面図である
【図８】は自動車フロント硝子補助具　図７の状態より上板を右に開くいた状態の正面図である
【図９】は自動車フロント硝子補助具　図８の状態より上板を右に開き上部を磁石にて固定した状態の正面図である
【図１０】は自動車フロント硝子補助具　図９を右に開きフロント硝子右端鉄部に磁石により固定フロント硝子正面を覆うった状態の正面図である
【符号の説明】
【０００８】
１　防水布カバー
２　ウレタン板
３　ウレタン板
４　ウレタン板
５　ウレタン板
６　ウレタン板
７　ベルト磁石（小）
８　ベルト磁石（大）
９　ベルト磁石（大）
１０　ベルト磁石（小）
１１　ベルト磁石（小）
１２　ベルト磁石（小）
１３　ベルト磁石（小）
１４　ベルト磁石（小）
１５　マジックテープ
１６　マジックテープ
１７　マジックテープ
１８　マジックテープ
Ｔ　自動車フロント硝子外枠

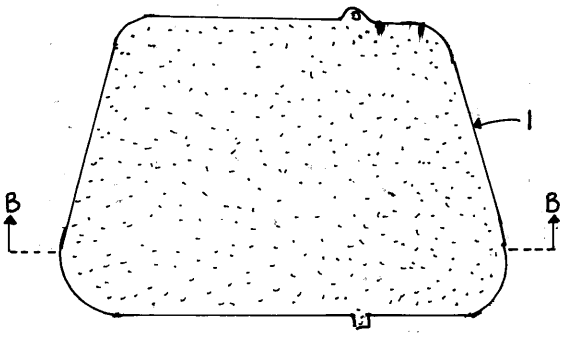
【図１】



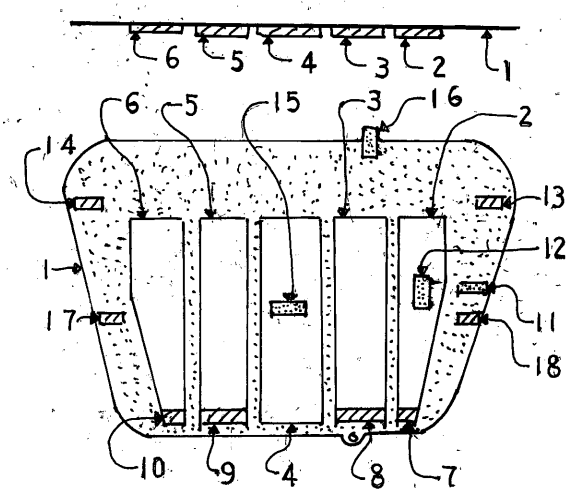
【図２】



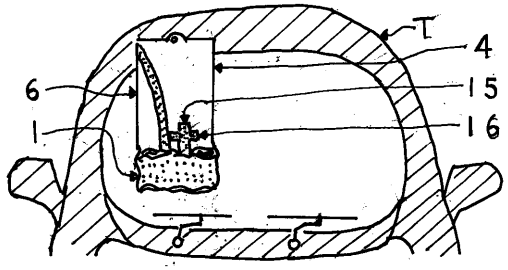
【図３】



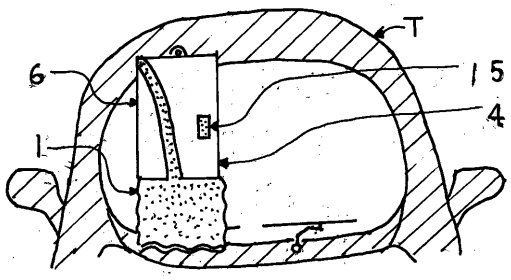
【図４】



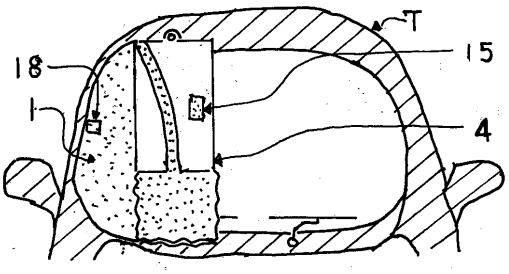
【図５】



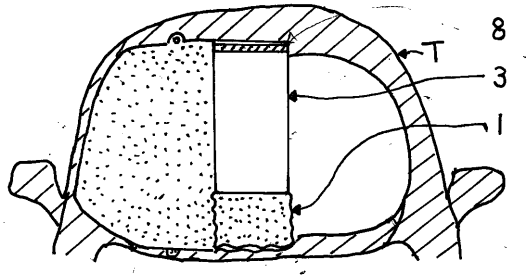
【図６】



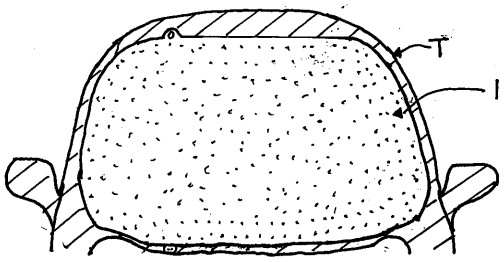
【図７】



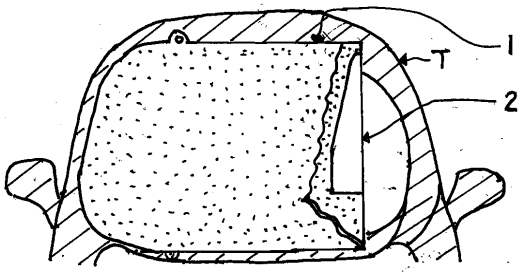
【図８】



【図１０】



【図９】



【手続補正書】
【提出日】平成20年1月22日(2008.1.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
防水布カバー又はビニール材からなるカバー裏面にウレタン板又は発砲板からなる芯板を複数枚左右の間隔を置き接着させ，上記裏面周囲へベルト磁石又はマジックテープを複数カ所設置したことを特徴とする自動車フロント硝子補助具
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【考案の詳細な説明】
【技術の分野】
【０００１】
本考案は自動車フロント硝子補助具に関するものであり自動車フロント硝子外面に防水布を覆う事により駐車中の運転室内への直射日光を遮断させたものである
【背景技術】
【０００２】
従来の自動車フロント硝子補助具は運転室内への直射日光を遮断させる室内設置用は有る

が効果が充分でない
【考案が解決しょうとする課題】
【０００３】
しかし現商品の形状では運転室内への直射日光の遮断は不充分であり又車外フロント硝子面への霜，雪等への付着防止が出来ない．本考案はこの様な不便さを解決する事を課題とする
【課題を解決しようとする手段】
【０００４】
この課題を解決するため請求項１の考案は防水布カバー（図３）に防水カバー裏面（図４）へウレタン板５枚を間隔を置き接着させ周囲にベルト磁石を複数枚接着させウインド外面へ固定させる又ウレタン板の接着間隔により折りたたみを可能としマジックテープで固定，小形化取付け取外し時間を短縮させる
【考案を実施するための最良の形態】
【０００６】
本考案に関わる自動車フロント硝子補助具は｛図１｝に示すように対象とする自動車のフロンント硝子面より一回り大きめの防水布（図３）の裏面（図４）に芯出し板としてウレタン板等を複数枚接着し折たたみ可能とし（図２）防水布の周囲にベルト磁石（図４参照）を複数か所接着する
尚取付け方法としては防水布カバー（図２）をフロント硝子面の（図５）の位置の鉄部へ磁石にて固定させ（図６）（図７）（図８）（図９）（図１０）の順で取付け収納は取付けと逆の順番が望ましく最後にマジックテープ（図４参照）固定させる
【手続補正書】
【提出日】平成20年3月24日(2008.3.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
防水布カバー又はビニール材からなるカバー裏面にウレタン板又は発砲板からなる芯板を複数枚左右の間隔を置き接着させ．上記裏面周囲へベルト磁石又は面ファスナーを複数カ所設置したことを特徴とする自動車フロント硝子補助具
【手続補正２】
【補正対象書類名】手続補正書
【補正対象項目名】手続補正２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は自動車フロント硝子補助具に関するものであり自動車フロント硝子外面に防水布を覆う事により駐車中の運転室内への直射日光を遮断させたものである
【背景技術】
【０００２】

従来の自動車フロント硝子補助具は運転室内への直射日光を遮断させる室内設置用はあるが効果が充分でない
【考案が解決しょうとする課題】
【０００３】
しかし現商品の形状では運転室内への直射日光を遮断は不充分であり又車外フロント硝子面への霜．雪等への付着防止が出来ない．本考案はこのような不便さを解決する事を課題とする
【課題を解決しようとする手段】
【０００４】
この課題を解決するため請求頁１の考案は防水カバー（図３）に防水カバー裏面（図４）へウレタン板５枚を間隔を置き接着させ周囲にベルト磁石を複数枚接着させウインド外面へ固定させる又ウレタン板の接着間隔により折りたたみを可能とし面ファスナーで固定．小形化取り付け取り外し時間を短縮させる
【考案の効果】
【０００５】
よって本考案の自動車フロント硝子補助具の使用により夏期には直射日光による車内温度の上昇を防ぎ冬期にはフロント外側面の霜．雪等の付着を防止する事が出来．面倒な霜．雪等の除去時間を短縮する事が出来る．
尚．この結果暖房．冷房時間の短縮により燃費の改善も期待できる
【考案を実施するための最良の形態】
【０００６】
本考案に関わる自動車フロント硝子補助具は（図１）に示すように対象とする自動車フロント硝子面より一回り大きめの防水布（図３）の裏面（図４）に芯出し板としてウレタン板等を複数枚接着し折りたたみ可能とし（図２）防水布の周囲にベルト磁石（図４参照）を複数カ所接着する．尚取付け方法としては防水布カバー（図２）をフロント硝子面の（図５）の位置の鉄部へ磁石にて固定させ（図６）（図７）（図８）（図９）（図１０）の順で取付け収納は取付けと逆の順番が望ましく最後に面ファスナー（図４参照）で固定させる
【図面の簡単な説明】
【０００７】
【図１】は自動車フロント硝子補助具を自動車全面硝子上部ルーフの鉄部に磁石にて取付けした正面図である
【図２】は自動車フロント硝子補助具を折りたたみ状態の平面図である
【図３】は自動車フロント硝子補助具を開いた状態の平面図である
【図４】は自動車フロント硝子補助具を開いた状態の裏側平面図である
【図５】は自動車フロント硝子補助具を自動車前面硝子上部ルーフの鉄部に折りたたみ状態で取り付けた正面図である
【図６】は自動車フロント硝子補助具を（図５）の下部の布部分を折りたたみ状態から面ファスナーを外し伸ばした状態の正面図である
【図７】は自動車フロント硝子補助具（図６）の状態より上板を左に開きフロント硝子左端鉄部分に磁石により固定した正面図である
【図８】は自動車フロント硝子補助具（図７）の状態より上板を右に開いた状態の正面図である
【図９】は自動車フロント硝子補助具（図８）の状態より上板を右に開き上部を磁石にて固定した状態の正面図である
【図１０】は自動車フロント硝子補助具（図９）を右に開きフロント硝子右端鉄部に磁石により固定フロント硝子正面を覆うった状態の正面図である
【符号の説明】
【０００８】
１　　防水布カバー

２　　ウレタン板
３　　ウレタン板
４　　ウレタン板
５　　ウレタン板
６　　ウレタン板
７　　ベルト磁石　（小）
８　　ベルト磁石　（大）
９　　ベルト磁石　（大）
１０　　ベルト磁石　（小）
１１　　ベルト磁石　（小）
１２　　ベルト磁石　（小）
１３　　ベルト磁石　（小）
１４　　ベルト磁石　（小）
１５　　面ファスナー
１６　　面ファスナー
１７　　面ファスナー
１８　　面ファスナー
Ｔ　　自動車フロント硝子外枠

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月30日(2008.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
防水布カバー又はビニール材からなるカバー裏面にウレタン板又は発砲板からなる芯板を複数枚左右の間隔を置き接着させ，上記裏面周囲へベルト磁石又は面ファスナーを複数か所設置したことを特徴とする自動車フロント硝子補助具
【手続補正２】
【補正対象書類名】手続補正書
【補正対象項目名】手続補正２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】｛０００３｝｛０００５｝
【補正の内容】
【書類名】　　明細書
【考案の名称】自動車フロント硝子補助具
【考案が解決しょうとする課題】
【０００３】
しかし現商品の形状では運転室内への直射日光の遮断は充分でなくまた車外フロント硝子面への霜及び雪等への付着防止が出来ない.
本考案はこのような不便さを解決することを課題とする
【考案の効果】
【０００５】
よって本考案の自動車フロント硝子補助具の使用により夏期には直射日光による車内温度の上昇を防ぎ冬期にはフロント外則硝子面への霜及び雪等の付着を防止可能となり面倒な

霜及び雪等の除去時間を短縮する事が出来る.
尚. この暖房及び冷房時間の短縮により燃費の改善も期待出来る
【手続補正書】
【提出日】平成20年8月6日(2008.8.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】手続補正書
【補正対象項目名】手続補正２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
しかし現商品の形状では運転室内への直射日光の遮断は充分でなくまた車外フロント硝子面への霜及び雪への付着防止が出来ない.
本考案はこのような不便さを解決することを課題とする
【手続補正２】
【補正対象書類名】手続補正書
【補正対象項目名】手続補正２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
よって本考案の自動車フロント硝子補助具の使用により夏期には直射日光による車内温度の上昇を防ぎ冬期にはフロント外側硝子面への霜及び雪等の付着を防止可能となり面倒な霜及び雪等の除去時間を短縮する事が出来る.
尚. この暖房及び冷房時間の短縮により燃費の改善も期待出来る